

集計条件について

《集計対象》

令和 5 年度に退院又は転棟した患者

《集計対象施設数》

施設類型	施設数
大学病院本院群	82
DPC 特定病院群	181
DPC 標準病院群	1497
DPC 準備病院	250
出来高算定病院	4294

《当該年度出来高算定病院の取り扱い》

集計対象期間内に提出された本データを集計対象（試行データは集計対象除外）

《震災等の影響による医療機関データの取り扱い》

以下、震災等の影響により提出データの全月のデータが不足している。

- ・平成 28 年（2016 年）熊本地震による影響
東熊本病院

《各種集計について》

各種集計については告示番号（令和 5 年度の告示番号。ただし、DPC 準備病院においては「9」始まりの調査参加年度毎の施設コード順、出来高算定病院においては「0」始まりの調査参加年度毎の施設コード順）、通番（令和 4 年度の告示番号。令和 4 年度調査参加病院である DPC 準備病院および出来高算定病院においては調査参加年度毎の施設コード順。当該年度より参加の病院は「-」を付けている。

《集計条件・公表条件》

- (1) 再入院・再転棟について、一般病棟グループ間での 4 週間以内の再入院・再転棟について集計対象とし、各項目について集計対象が 0 件の場合は空白（NULL）としている。
- (2) 後発医薬品の使用状況について、一般病棟期間のみを集計対象とし、一般病棟に症例が存在しないもしくは後発医薬品の使用がない医療機関は公表の対象外として「-」マークで表示した。
- (3) 特定抗菌薬の使用状況について、一般病棟期間およびその他病棟期間を集計対象とし、各年齢区分で症例数が 10 症例未満の医療機関は公表の対象外として「-」マークで表示した。
- (4) FIM の入力状況について、入院中に回復期リハビリテーション病棟入院料もしくは特定機能病院リハビリテーション病棟入院料算定している親様式を集計対象とし、入力症例が 10 症例未満の医療機関は公表対象外として「-」マークで表示した。

- (5) 要介護度の入力状況について、入院中に療養病棟入院基本料算定している親様式を集計対象とし、入力症例が 10 症例未満の医療機関は公表対象外として‘－’マークで表示した。
- (6) 様式 1 重症度項目 発症前 Rankin Scale の入力状況、様式 1 重症度項目 脳卒中の発症時期の入力状況および様式 1 重症度項目 退院時 modified Rankin Scale の入力状況について、医療資源を最も投入した傷病名が 010020、010040～010070 に定義される傷病名である親様式を集計対象とし、入力症例が 10 症例未満の医療機関は公表対象外として‘－’マークで表示した。
- (7) 様式 1 重症度項目 Hugh-Jones 分類の入力状況について、医療資源を最も投入した傷病名が MDC04 に定義される傷病名である親様式（04026x に定義される傷病名の症例は除く）を集計対象とし、入力症例が 10 症例未満の医療機関は公表対象外として‘－’マークで表示した。
- (8) 様式 1 重症度項目 肺炎患者 重症度の入力状況について、15 歳以上で、医療資源を最も投入した傷病名が 040070、040080 に定義される傷病名である親様式を集計対象とし、入力症例が 10 症例未満の医療機関は公表対象外として‘－’マークで表示した。
- (9) 様式 1 重症度項目 呼吸不全患者 P/F 比の入力状況について、以下に該当する親様式を集計対象とし、救急受診時の P/F 比と治療室又は病棟入室時の P/F 比のそれぞれの項目毎に入力症例が 10 症例未満の医療機関は公表対象外として‘－’マークで表示した。
- ・ 救急受診時の P/F 比：医療資源を最も投入した傷病名が 040130 に定義される傷病名であり、かつ予定・救急医療入院が 300 番台である親様式
 - ・ 治療室又は病棟入室時の P/F 比：医療資源を最も投入した傷病名が 040130 に定義される傷病名である親様式
- (10) 様式 1 重症度項目 NYHA 心機能分類の入力状況について、主傷病名あるいは医療資源を最も投入した傷病名、医療資源を 2 番目に投入した ICD コードのいずれかが I110、I130、I132、I270、I272、I279、I50\$である親様式を集計対象とし、入力症例が 10 症例未満の医療機関は公表対象外として‘－’マークで表示した。
- (11) 様式 1 重症度項目 救急受診時等の NYHA 心機能分類の入力状況について、主傷病名あるいは医療資源を最も投入した傷病名、医療資源を 2 番目に投入した ICD コードのいずれかが I110、I130、I132、I270、I272、I279、I50\$であり、かつ予定・救急医療入院が 300 番台である親様式を集計対象とし、入力症例が 10 症例未満の医療機関は公表対象外として‘－’マークで表示した。
- (12) 様式 1 重症度項目 CCS 分類の入力状況について、医療資源を最も投入した傷病名が 050050 に定義される傷病名である親様式を集計対象とし、入力症例が 10 症例未満の医療機関は公表対象外として‘－’マークで表示した。
- (13) 様式 1 重症度項目 Killip 分類の入力状況および様式 1 重症度項目 急性心筋梗塞の発症時期の入力状況について、医療資源を最も投入した傷病名が 050030 に定義される傷病名である親様式を集計対象とし、入力症例が 10 症例未満の医療機関は公表対象外として‘－’マークで表示した。

- (14) 様式 1 重症度項目 収縮期血圧の入力状況について、以下のいずれかに該当する親様式を集計対象とし、入力症例が 10 症例未満の医療機関は公表対象外として ‘－’ マークで表示した。
- ・ 医療資源を最も投入した ICD コードが I50\$ であって、病名付加コードが ‘30101’ (急性心不全) 又は ‘30102’ (慢性心不全の急性増悪) である親様式
 - ・ 主傷病名又は医療資源を 2 番目に投入した ICD10 コードが I50\$ である親様式
- (15) 様式 1 重症度項目 Stanford A/B 型の入力状況について、主傷病名あるいは医療資源を最も投入した傷病名、医療資源を 2 番目に投入した ICD コードのいずれかが I710 である親様式を集計対象とし、入力症例が 10 症例未満の医療機関は公表対象外として ‘－’ マークで表示した。
- (16) 様式 1 重症度項目 肝硬変の Child-Pugh 分類の入力状況について、主傷病名あるいは医療資源を最も投入した傷病名、医療資源を 2 番目に投入した傷病名、入院の契機となった傷病名、入院時併存傷病名、入院後発症疾患傷病名のいずれかが 060300 に定義される傷病名である親様式を集計対象とし、入力症例が 10 症例未満の医療機関は公表対象外として ‘－’ マークで表示した。
- (17) 様式 1 重症度項目 急性膵炎の重症度分類の入力状況について、医療資源を最も投入した傷病名が 060350 に定義される傷病名である親様式を集計対象とし、入力症例が 10 症例未満の医療機関は公表対象外として ‘－’ マークで表示した。
- (18) 様式 1 重症度項目 分娩時出血量の入力状況について、医療資源を最も投入した傷病名が 120130、120140、120160、120170、120180、120200、120210、120260、120270 に定義される傷病名であり、入院周辺の分娩の有無が「1：入院前 1 週間以内に分娩あり」、「2：入院中に分娩あり」である親様式を集計対象とし、入力症例が 10 症例未満の医療機関は公表対象外として ‘－’ マークで表示した。
- (19) 様式 1 重症度項目 Burn Index の入力状況について、診断情報で入力した傷病名のいずれかが 161000 に定義される傷病名である親様式を集計対象とし、入力症例がない医療機関は公表対象外として ‘－’ マークで表示した。
- (20) SOFA スコア 特定集中治療室の入力状況について、15 歳以上で特定集中治療室管理料を算定する病床に入院した親様式を集計対象とし、入力症例が 10 症例未満の医療機関は公表対象外として ‘－’ マークで表示した。
- (21) SOFA スコア 敗血症の入力状況について、15 歳以上で入院の契機となった傷病名、医療資源を最も投入した傷病名、入院時併存症及び入院後発症疾患のいずれかが 180010 に定義される傷病名である親様式を集計対象とし、入力症例が 10 症例未満の医療機関は公表対象外として ‘－’ マークで表示した。
- (22) pSOFA スコア 特定集中治療室の入力状況について、15 歳未満で特定集中治療室管理料を算定する病床に入院した親様式を集計対象とし、入力症例が 10 症例未満の医療機関は公表対象外として ‘－’ マークで表示した。
- (23) pSOFA スコア 敗血症の入力状況について、15 歳未満で入院の契機となった傷病名、医療資源を最

も投入した傷病名、入院時併存症及び入院後発症疾患のいずれかが 180010 に定義される傷病名である親様式を集計対象とし、入力症例が 10 症例未満の医療機関は公表対象外として ‘-’ マークで表示した。

(24) 下記項目に該当する場合は分析対象から除外した。なお、当該年度において辞退届（データ提出加算辞退届等）の提出を行った医療機関も集計より除外した。

集計条件については下記の通り次ページの集計①～⑧の内容により集計の条件を変更している。

分析対象外項目	①	②、③	④、⑤	⑥～⑧
診療録情報の重複提出		○	○	○
レセプトデータの不足		○	○	○
在院日数 1 日以下		○		
外泊 ≥ 在院日数		○		
年齢 0 歳未満 120 歳超		○	○	○
入退院生年月日の誤り		○	○	○
1 日当りの点数が 1200 点未満		○		
自費のみ、保険と他制度の併用及び臓器提供者等		○		
24 時間以内の死亡		○		
特定入院料なしで入院基本料 0 点以下		○		
治験の実施		○		
移植手術あり		○		
令和 5 年 3 月 31 日以前入院の患者	○	○	○	○
厚生労働大臣が定めるもの		○		
生後 7 日以内の死亡		○		
DPC 該当せず（医療資源に最も投入した傷病名が自然分娩等となる症例）		○		○
同日再入院		○	○	○
DPC 対象病院以外				○

- ・ 今回の集計においてアウトライヤー処理を行っていない。

《集計表について》

①再入院再転棟

様式 1 の再入院調査および再転棟調査を用いて、一般病棟グループ間の 4 週間以内の再入院及び再転棟について医療機関別に下記を算出。

- ・ 一般病棟グループ間の 4 週間以内の再入院および再転棟
- ・ 4 週間以内再入院の期間別の内訳、前回入院病名（同一病名、異なる病名）での再入院別割合
- ・ 計画的再入院における理由の内訳、計画的再入院の理由のうち「検査入院後の手術を行うため」もしくは「手術入院後の手術・処置・検査等を行うため」であった場合の MDC 別内訳
- ・ 計画的再入院の理由のうち「計画的な化学療法のため」であった場合の MDC 別内訳
- ・ 計画的再入院の理由のうち「計画的な化学療法のため」または「計画的な放射線療法のため」であった場合の回数別在院日数
- ・ 再入院回数

②後発医薬品の使用状況

一般病棟期間で使用された薬剤について、後発医薬品の数量割合（＝[後発医薬品の数量]／[後発医薬品のある先発医薬品の数量]+[後発医薬品の数量]）を算出。数量は薬価基準告示上の規格単位ごとに、厚生労働省が公表するマスタ（<https://www.mhlw.go.jp/topics/2023/04/tp20230401-01.html>）を基に算出。

③特定抗菌薬の使用状況

一般病棟期間およびその他病棟期間において使用されたカルバペネム系抗菌薬について、各年齢区分（15歳未満、15歳以上65歳未満、65歳以上）でのAUD（antimicrobial use density：抗菌薬使用密度）およびDOT（days of therapy：抗菌薬治療日数）を算出。なお、計算に用いるDDD（defined daily dose）はWHOのサイト（https://www.whooc.no/atc_ddd_index/）に公開されている値（2024年1月26日時点の更新情報）を使用。なお、カルバペネム系のうち上記サイトでDDDの値が明示されていないものについては除外して集計している。

- ・ $AUD = (\text{特定期間の特定抗菌薬使用量} / (\text{当該抗菌薬 DDD} \times \text{特定期間の入院患者延べ日数})) \times 1000$
- ・ $DOT = (\text{特定期間の特定抗菌薬延べ投与日数} / \text{特定期間の入院患者延べ入院日数}) \times 1000$

④FIMの入力状況

回復期リハビリテーション病棟入院料もしくは特定機能病院リハビリテーション病棟入院料算定症例について、医療機関別に下記を算出。FIM得点が不明或未入力であった場合は不明として割合を算出。また、退棟時FIMにおいて死亡の場合は死亡として割合を算出。なお、手術有りの判定は様式1の手術情報（輸血関連手技（K920輸血、K920-2輸血管理料およびK923術中術後自己血回収術）を除く。）を用いて判定している。

- ・ 回復期リハビリテーション病棟入院料もしくは特定機能病院リハビリテーション病棟入院料病床数（当該年度3月の様式3病床数）
- ・ 入院患者に占めるFIMの入力対象症例割合
- ・ FIM入力対象症例の平均年齢
- ・ FIM入力対象症例における手術有り割合
- ・ FIM入力対象症例における入棟時FIM得点割合（運動項目別、認知項目別、不明）及び退棟時FIM得点割合（運動項目別、認知項目別、不明、死亡）

⑤要介護度の入力状況

療養病棟入院基本料算定症例について、医療機関別に下記を算出。要介護度が不明或未入力であった場合は、不明として割合を算出。

- ・ 療養病床数（当該年度3月の様式3病床数）
- ・ 入院患者に占める要介護度の入力対象症例割合
- ・ 要介護度入力対象症例の平均年齢
- ・ 要介護度入力対象症例における要介護度別割合

⑥-1 様式1重症度項目 発症前 Rankin Scale の入力状況

発症前 Rankin Scale が入力必須である症例について、医療機関別に下記を算出。

- ・ 入院患者に占める発症前 Rankin Scale の入力対象症例割合
- ・ 発症前 Rankin Scale 入力対象における発症前 Rankin Scale 別割合

⑥-2 様式 1 重症度項目 脳卒中の発症時期の入力状況

脳卒中の発症時期が入力必須である症例について、医療機関別に下記を算出。

- ・ 入院患者に占める脳卒中の発症時期の入力対象症例割合
- ・ 脳卒中の発症時期入力対象における脳卒中の発症時期別割合

⑥-3 様式 1 重症度項目 退院時 modified Rankin Scale の入力状況

退院時 modified Rankin Scale が入力必須である症例について、医療機関別に下記を算出。

- ・ 入院患者に占める退院時 modified Rankin Scale の入力対象症例割合
- ・ 退院時 modified Rankin Scale 入力対象における退院時 modified Rankin Scale 別割合

⑥-4 様式 1 重症度項目 Hugh-Jones 分類の入力状況

Hugh-Jones 分類が入力必須である症例について、医療機関別に下記を算出。

- ・ 入院患者に占める Hugh-Jones 分類の入力対象症例割合
- ・ Hugh-Jones 分類入力対象における Hugh-Jones 分類別割合（6 歳未満症例は除外）
- ・ Hugh-Jones 分類入力対象における 6 歳未満症例割合

⑥-5 様式 1 重症度項目 肺炎患者 重症度の入力状況

肺炎患者 重症度が入力必須である症例について、医療機関別に下記を算出。

- ・ 入院患者に占める肺炎患者 重症度の入力対象症例割合
- ・ 肺炎患者 重症度入力対象における男性 70 歳以上、女性 75 歳以上の症例割合
- ・ 肺炎患者 重症度入力対象における肺炎の重症度分類の 1～7 桁目別割合
- ・ 肺炎患者 重症度入力対象における医療介護関連肺炎の該当割合

⑥-6 様式 1 重症度項目 呼吸不全患者 P/F 比の入力状況

呼吸不全患者 P/F が入力必須である症例について、医療機関別に下記を算出。

- ・ 入院患者に占める救急受診時の P/F 比の入力対象症例割合
- ・ 救急受診時の P/F 比入力対象における救急受診時の P/F 比不明割合
- ・ 入院患者に占める治療室又は病棟入室時の P/F 比の入力対象症例割合
- ・ 治療室又は病棟入室時の P/F 比入力対象における治療室又は病棟入室時の P/F 比不明割合

⑥-7 様式 1 重症度項目 NYHA 心機能分類の入力状況

NYHA 心機能分類が入力必須である症例について、医療機関別に下記を算出。

- ・ 入院患者に占める NYHA 心機能分類の入力対象症例割合
- ・ NYHA 心機能分類入力対象における NYHA 心機能分類別割合

⑥-8 様式 1 重症度項目 救急受診時等の NYHA 心機能分類の入力状況

救急受診時・治療室又は病棟入室時の NYHA 心機能分類が入力必須である症例について、医療機関別に下記を算出。

- ・ 入院患者に占める救急受診時・治療室又は病棟入室時の NYHA 心機能分類の入力対象症例割合
- ・ 救急受診時の NYHA 心機能分類入力対象における救急受診時の NYHA 心機能分類不明割合
- ・ 治療室又は病棟入室時の NYHA 心機能分類入力対象における治療室又は病棟入室時の NYHA 心機能分類不明割合

⑥-9 様式 1 重症度項目 CCS 分類の入力状況

CCS 分類が入力必須である症例について、医療機関別に下記を算出。

- ・ 入院患者に占める CCS 分類の入力対象症例割合
- ・ CCS 分類入力対象における CCS 分類別割合

⑥-10 様式 1 重症度項目 Killip 分類の入力状況

Killip 分類が入力必須である症例について、医療機関別に下記を算出。

- ・ 入院患者に占める Killip 分類の入力対象症例割合
- ・ Killip 分類入力対象における Killip 分類別割合

⑥-11 様式 1 重症度項目 収縮期血圧の入力状況

収縮期血圧が入力必須である症例について、医療機関別に下記を算出。

- ・ 入院患者に占める収縮期血圧の入力対象症例割合
- ・ 収縮期血圧入力対象における収縮期血圧別割合
- ・ 収縮期血圧入力対象における未入力割合

⑥-12 様式 1 重症度項目 急性心筋梗塞の発症時期の入力状況

急性心筋梗塞の発症時期が入力必須である症例について、医療機関別に下記を算出。

- ・ 入院患者に占める急性心筋梗塞の発症時期の入力対象症例割合
- ・ 急性心筋梗塞の発症時期入力対象における急性心筋梗塞の発症時期別割合

⑥-13 様式 1 重症度項目 Stanford A/B 型の入力状況

Stanford A/B 型が入力必須である症例について、医療機関別に下記を算出。

- ・ 入院患者に占める Stanford A/B 型の入力対象症例割合
- ・ Stanford A/B 型入力対象における Stanford A/B 型別割合

⑥-14 様式 1 重症度項目 肝硬変の Child-Pugh 分類の入力状況

肝硬変の Child-Pugh 分類が入力必須である症例について、医療機関別に下記を算出。

- ・ 入院患者に占める肝硬変の Child-Pugh 分類の入力対象症例割合
- ・ 肝硬変の Child-Pugh 分類入力対象における肝硬変の Child-Pugh 分類別割合

⑥-15 様式 1 重症度項目 急性膵炎の重症度分類の入力状況

急性膵炎の重症度分類が入力必須である症例について、医療機関別に下記を算出。

- ・ 入院患者に占める急性膵炎の重症度分類の入力対象症例割合
- ・ 急性膵炎の重症度分類入力対象における重症割合
- ・ 急性膵炎の重症度分類入力対象における不明割合（「B.造影剤 CT Grade」のみ）
- ・ 急性膵炎の重症度分類入力対象における不明割合（「A.予後因子」「B.造影剤 CT Grade」両方）

⑥-16 様式 1 重症度項目 分娩時出血量の入力状況

分娩時出血量が入力必須である症例について、医療機関別に下記を算出。

- ・ 入院患者に占める分娩時出血量の入力対象症例割合
- ・ 分娩時出血量入力対象における分娩時出血量不明割合

⑥-17 様式1 重症度項目 Burn Index の入力状況

Burn Index が入力必須である症例について、医療機関別に下記を算出。

- ・ 入院患者に占める Burn Index の入力対象症例割合
- ・ Burn Index 入力対象における Burn Index 別割合
- ・ Burn Index 入力対象における未入力割合

⑦-1 SOFA スコア 特定集中治療室の入力状況

15 歳以上で特定集中治療室管理料を算定している症例について、医療機関別に下記を算出。不明・未入力割合は、入力されている連番分をすべて使用して集計している。

- ・ 入院患者に占める SOFA スコア 特定集中治療室の入力対象症例割合
- ・ SOFA スコア 特定集中治療室入力対象における不明割合
- ・ SOFA スコア 特定集中治療室入力対象における未入力割合

⑦-2 SOFA スコア 敗血症の入力状況

SOFA スコア 敗血症が入力必須である症例について、医療機関別に下記を算出。不明・未治療割合は、入力されている連番分をすべて使用して集計している。

- ・ 入院患者に占める SOFA スコア 敗血症の入力対象症例割合
- ・ SOFA スコア 敗血症入力対象における不明割合
- ・ SOFA スコア 敗血症入力対象における未治療割合
（「未治療」とは、治療開始日当日測定日が「99999999」であることを指す）

⑧-1 pSOFA スコア 特定集中治療室の入力状況

15 歳未満で特定集中治療室管理料を算定している症例について、医療機関別に下記を算出。不明・未入力割合は、入力されている連番分をすべて使用して集計している。

- ・ 入院患者に占める pSOFA スコア 特定集中治療室の入力対象症例割合
- ・ pSOFA スコア 特定集中治療室入力対象における不明割合
- ・ pSOFA スコア 特定集中治療室入力対象における未入力割合

⑧-2 pSOFA スコア 敗血症の入力状況

pSOFA スコア 敗血症が入力必須である症例について、医療機関別に下記を算出。不明・未治療割合は、入力されている連番分をすべて使用して集計している。

- ・ 入院患者に占める pSOFA スコア 敗血症の入力対象症例割合
- ・ pSOFA スコア 敗血症入力対象における不明割合
- ・ pSOFA スコア 敗血症入力対象における未治療割合
（「未治療」とは、治療開始日当日測定日が「99999999」であることを指す）